

2月20日 岐阜県西濃地区で橋梁保全講習会を開催

～ 橋梁保全の技術的支援をします ～

1. 概要

昨年の笹子トンネル天井板崩落事故や浜松市水窪の第一弁天橋のケーブル破断事故により、道路やトンネル・橋梁等の古くなったインフラ(社会基盤)の点検のあり方が社会的な問題になっています。

国土交通省は、「社会資本の老朽化対策会議」を先月に設置し、トンネル・橋梁等の直轄インフラの安全性総点検を全省体制で取り組んでいるところです。

また、地方自治体の道路や橋梁等の地方インフラ(社会基盤)の点検や補修に財政的にも支援を強化する予定です。特に、橋梁については昨年の浜松の原田橋のように一般生活に多大な影響を及ぼす恐れがあります。

この度、岐阜大学(※ME)と協働で岐阜県西濃地区の地方自治体職員への技術的支援として橋梁保全講習会を実施しましたので、お知らせします。

○日 時:平成25年 2月20日(水) 13:00 ～

○場 所:大垣市防災センター及び大垣市管理橋梁(深川橋)

○日 程:13:00～ 座学、14:55～ 現地研修

○参加者:西濃地区自治体より 36名

岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター沢田准教授及びME 14名

中部地整より 12名

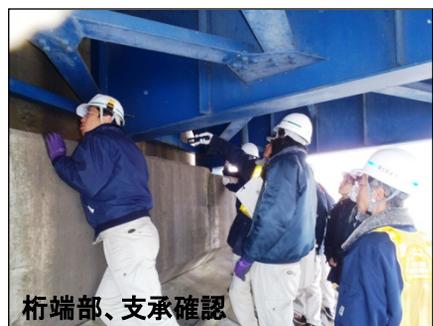
2. 講習会の様子



【座学】熱心に受講する参加者



橋梁点検車
にて確認



桁端部、支承確認



橋上でのポイント説明

【現地研修】小雨まじりの寒風吹きすさぶ(当日最高気温5℃)中、熱心に点検実習されました

3. 報道

岐阜新聞、建通新聞に取り上げられました。NHKで開催予告がありました。

以上